

佛山国家ハイテク産業開発区南海園

中国広東省佛山市南海区獅山鎮大学城創業中心 A 座 107 室

日本企業フォロー専門担当（日本語可）
謝海翔

TEL: +86-757-8668-3236

MOB: +86-13927732255

EMAIL: 13927732255@163.com

郭燕敏

TEL: +86-757-8668-7088

MOB: +86-13927791614

EMAIL: yukitang@aliyun.com



佛山国家ハイテク産業開発区 : <http://www.fs-hitech.gov.cn/>
中欧科学技術合作産業園 : <http://cetcip.fs-hitech.gov.cn/Japan/>



佛山国家ハイテク産業開発区 南海園投資ナビ

佛山国家ハイテク産業開発区投資促進局

気候も人も暖かい 南海・獅山へようこそ

中国南部・広東省の経済の中心・珠江デルタのさらに中心部に位置するのが、佛山国家ハイテク産業開発区南海園です。中国第三の都市・広州に隣接し、「産・街・人が融合した広佛副都心」である佛山市南海区獅山鎮は、温暖な気候、そして何より古より栄えた歴史ある土地ならではの豊かな文化と暖かい人柄が特長です。

日中経済交流の発展とともに現在、当園には多くの日系企業様に進出いただき、数多くの成功を収めていただいています。

御社のビジネスの新しいページを切り拓き、素晴らしい成功を収めていただくため、私どもは皆様を全力でサポートさせていただきます。

獅山鎮全景

Comments

FP "By 2025, Foshan will be the 13th most dynamic city of the world in terms of GDP growth."
Foreign Policy

GDP 成長に基づくランキングで 2025 年には佛山市は世界で最も活力ある都市の第 13 位を占めるようになるだろう。
——《外交政策》雑誌


McKinsey & Company "Foshan is as attractive to companies as leading tier-one cities, such as Shanghai and Shenzhen."


上海と深圳などの「一線都市」と同じく、佛山は中国において最も企業投資を引き寄せる魅力を持っている都市である。
——マッキンゼー・アンド・カンパニー


Awards


 National Innovation Award—FHIDZ
2015 年度国家レベル革新賞
——佛山ハイテク区

 National Civilised City Award—FHIDZ
国家レベル文明都市——佛山

 Euro—China Smart Mobility City—Foshan
中欧スマートモビリティシティ——佛山

 Urban Open Space Award—Qiandenghu Lake
2015 年度都市オープンスペース賞
——佛山・千燈湖

 UN: Award of Sustainable Cities in China 2015—Foshan
国連：2015 中国持続可能な都市——佛山

 GD Science & Technology Award—27 Projects
プロジェクト 27 件が広東省科学技術賞を
獲得——佛山

Contents 目次

- P04 南海区の概要
- P06 獅山鎮の概要
- P08 優れた交通ネットワーク

- P12 年々進む産業集積
- P16 4大産業園

- P20 優遇政策・サービス
- P22 異国で安心して相互交流を
- P24 優秀人材確保への取り組み

- P26 南海の暮らし
- P28 急速に進む都市建設
- P30 4つのゴルフ場
- P31 悠久の歴史を持つ南海
- P33 南海・獅山鎮の伝統行事
- P34 佛山の名産品
- P35 南海便利電話帳



南海千灯湖

南海区の概要

中国の南方の中心地域である広東省のなかでも、経済発展の中心となっている珠江デルタに位置する南海区は、改革開放政策にあわせ製造業集積の地として経済発展してきました。さらに、近年では「広東金融ハイテクエリア」も設立され、金融など第三次産業の発展も注目されています。

総面積が1073.8平方キロメートルで、佛山市の五つの行政区画の一つである南海区は、広東省の省都である広州市に隣接し、ビジネスインフラが整ったエリアとして注目されており、多くの外資系企業が進出しています。工業総生産高（2015年）は5794.80億元、対前年比で7.5%増となっています。

広東省の経済が最も発達した地域のひとつである南海区は、中国の区レベルの総合評価ランキング「全国総合実力百強区」において、2014年、2015年と二年連続で第二位を獲得しました。

南海区は亜熱帯海洋性季風気候に属し、気候は温暖、年間平均気温は摂氏21.8度、年間平均降水量が1638ミリメートルとなっています。

南海区には珠江三大支流である西江と北江という二本の大きな川が流れています。淡水資源が極めて豊富で、大規模なビール工場や飲料会社も進出していることから、その水源のよさがわかります。また、優れた水路網を備え、水上輸送インフラも充実しています。

珠江デルタ経済圏の中心に位置する南海区は陸、空の交通も至便。鉄道では、東側が広州と内陸部を結ぶ広州南駅に隣接して、さらに、2017年末完成予定の佛山西駅も南海区獅山鎮内に位置し、鉄道交通のさらなる充実が期待できます。道路の面では広佛高速道路、広佛肇高速道路、佛開高速道路など多数な高速道路があり、国内陸上輸送も便利。佛山沙堤空港が南海羅村にあるほか、周辺地域の広州、香港などの大きな国際空港とあわせ、空の物流環境も充実しています。

「広佛同城」都市圏建設がもたらす発展のチャンス！ 地下鉄や高速鉄道で結ぶ「30分都市経済圏」

中国第三大都市のひとつに数えられる広州市と、経済発展著しい佛山市という両都市は、歴史的に見ると、古の時代にはひとつの都市でした。このため、両都市は「唇齒輔車」のような関係で、歴史も文化も同じ源です。両都市の総面積を合わせると1万1309.4平方キロにもなり珠江デルタの約28%を占めます。さらに両都市の人口は合計2097.71万人で珠江デルタ地域の約38%を占めます。

「広佛同城」とは、両都市の行政の壁をなくし、地域を一体化させ、広佛都市圏を建設することことを目指して、佛山

市と広州市政府により始められた取り組みです。2009年に「広佛同城」が本格にスタート。交通インフラを始め、環境治理、民生事業などへ展開しています。地下鉄・広佛線と都市間高速鉄道・広佛肇線の開通により、広州と佛山を30分で結ぶ目標である「広佛30分生活圏」にさらに近づきました。これからも、地下鉄線路の連結、都市間軌道の建設がさらに進んでいきます。

すでに、広州と佛山の本格的な一体化の実現は目前まで迫っているのです！



2015年上海・珠江デルタ経済データ比較

都市	面積 (平方キロ)	常住人口 (万人)	GDP (億元)	規模以上工業増加値 (億元)	輸出入総額 (億元)	社会消費品小売総額 (億元)	一人あたり可処分所得 (億元)
上海市	6,340.50	2,415.27	24,964.99	7,109.94	28,060.88	10,055.76	49,867.00
広州市	7,436.00	1,350.11	18,100.41	4,840.42	8,306.41	7,932.96	46,734.60
深圳市	2,007.00	1,137.89	17,502.99	6,785.01	27,516.58	5,017.84	44,633.30
佛山市	3,875.00	743.60	8,003.92	4,406.95	4,087.19	2,687.22	38,501.00
東莞市	2,512.00	825.41	6,275.06	2,711.09	10,407.76	2,154.70	38,651.00
珠海市	1,696.00	163.41	2,024.98	980.76	2,960.53	913.20	36,157.90
江門市	9,554.00	451.95	2,240.02	925.99	1,231.80	1,032.31	22,364.00
中山市	1,770.00	320.96	3,010.03	1,305.67	2,210.22	1,079.74	35,712.00
惠州市	11,159.00	475.55	3,140.03	1,587.97	3,605.26	1,070.72	25,220.00
肇慶市	15,006.00	405.96	1,970.01	938.20	544.35	632.36	18,991.40
南海区	1,077.00	270.56	2,226.97	1,117.56	1,337.84	868.47	39,625.00

出典：各都市「統計公報」より

注：①（規模以上工業増加値）の「規模以上」とは、主な経営種目の収入が2000万元以上の工業企業を指す。②工業増加値とは、工業企業が通貨の形で表現した報告期間内における工業生産活動の最終的な成果。つまり、工業企業の全生産過程の総成果から生産過程において消耗または転移した物質製品と労務価値を控除したあとの残高であり、工業企業が生産過程で新たに増加した価値である。③惠州、肇慶、南海区の統計公報での輸出入額はそれぞれ、543.55億ドル、82.07億ドル、201.7億ドルとなっているが、上記の数字はナビ編集時の為替ルートで換算されたものである。④上海市の規模以上工業増加値は、「規模以上」ではなく在上海企業全社の工業増加値である。



獅山鎮市街地

獅山鎮の概要

佛山市のなかでも広州市に隣接し、経済発展が進む南海区。その中心に位置するのが獅山鎮です。数回に渡る行政調整が行われ、獅山鎮が周辺の鎮を吸収合併し、現在行政面積が330.6平方キロメートルの新獅山鎮となりました。新獅山鎮は南海区面積の三分の一を占め、最も大きな鎮となっています。現在、「産・街・人が融合した広佛副都心」を目指して発展しています。

獅山鎮は中国の鎮レベルエリアのなかでも重点的に開発していく鎮に与えられる「全国重点鎮」として認められています。また、全国の鎮のなかでも衛生管理の良い鎮に与えられる「国家級衛生鎮」も授与されています。さらに、「広東省食品安全見本鎮」「広東省文明鎮」を受賞し、2015年には「全国総合実力百強鎮」ランキング3位を獲得しました。工業総生産高(2015年)は3200億元、対前年比で14%増となっています。

同時に獅山鎮は国家級ハイテク開発区である「佛山国家ハイテク産業開発区南海園」の一部であり、その面積の80%を占めています。当園には、ドイツ・フォルクスワーゲンの完成車工場やホンダ、アイシン精機、トヨタ紡織などの日系自動車部品メーカーを中心に、自動車産業関連企業が多く進出しています。自動車産業以外にも、ハイエンド設備製造、LEDモニター、半導体照明(新光源)、知能家電、新素材、バイオ製薬などの核心産業の集積が形成されています。行政管理では、獅山鎮は当園と「園鎮融合」を推進しており、鎮全体が当園とともに発展しています。

交通至便な南海区の中心をなす獅山鎮は、広三高速、広佛肇高速道路、珠二環、佛山一環など主要な高速道路に加え、高速鉄道、さらに北江水道など陸水の物流の要となるルート

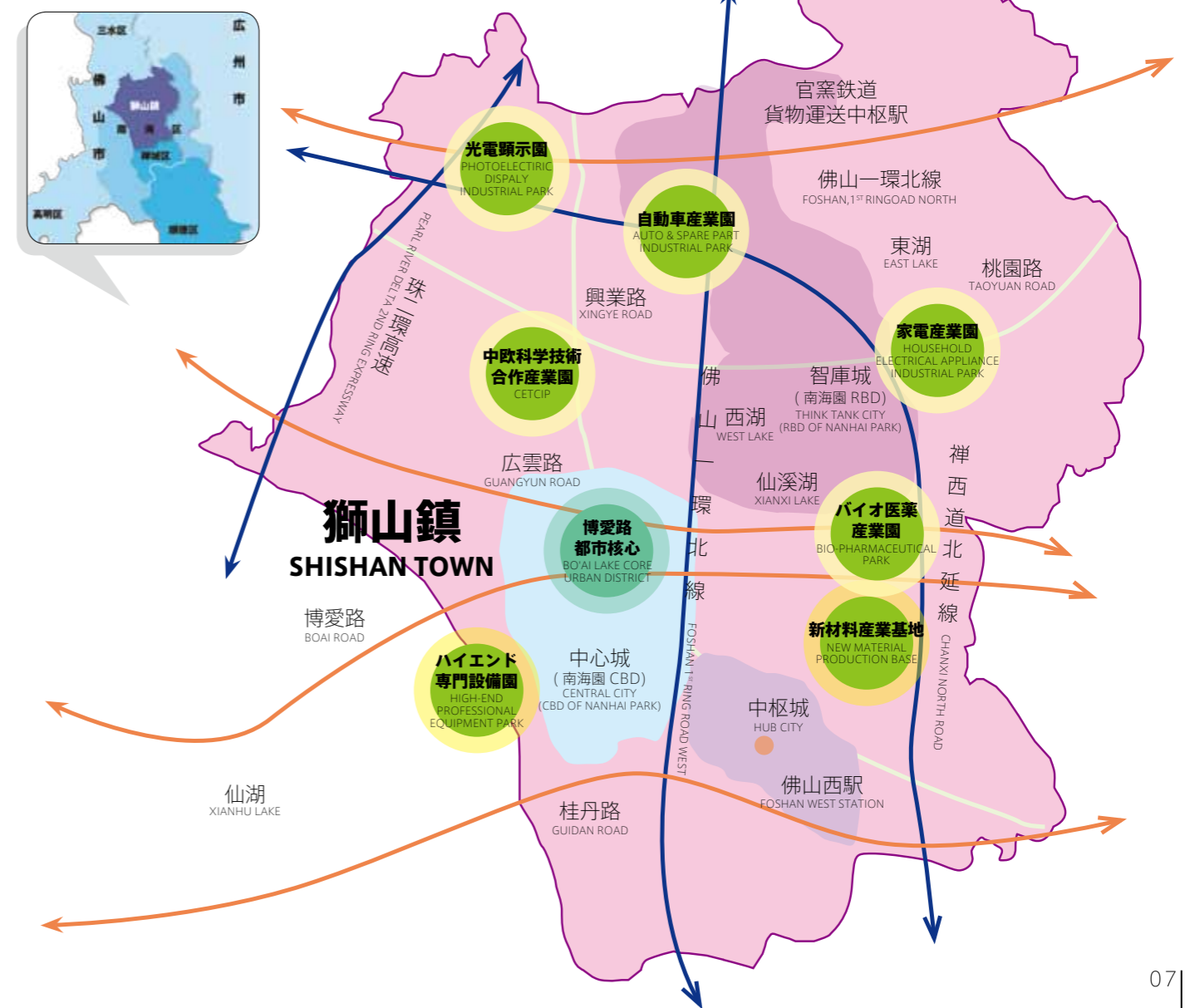
が獅山鎮を通過し、南海及び佛山の地域的な交通の要となっています。

悠久の歴史を持つ南海区は、武術の名手として有名な黄飛鴻や葉問を輩出、獅山鎮は葉問の故郷です。また鎮内には南国桃園、広佛新世界など広東省でも有名なゴルフ場が3つあり、ビジネス環境にも、文化と自然の魅力溢れる環境を有するのが特長です。

獅山鎮経済データ(2015年)

項目	単位	獅山鎮
面積	平方キロ	330.6
常住人口	万人	81
戸籍人口	万人	28.78
GDP	億元	840
工業総生産高	億元	3,200
社会消費品小売総額	億元	157.5
一人あたり可処分所得	元	40,148

佛山国家ハイテク産業開発区南海園(獅山鎮) Nanhai Park of FHIDZ



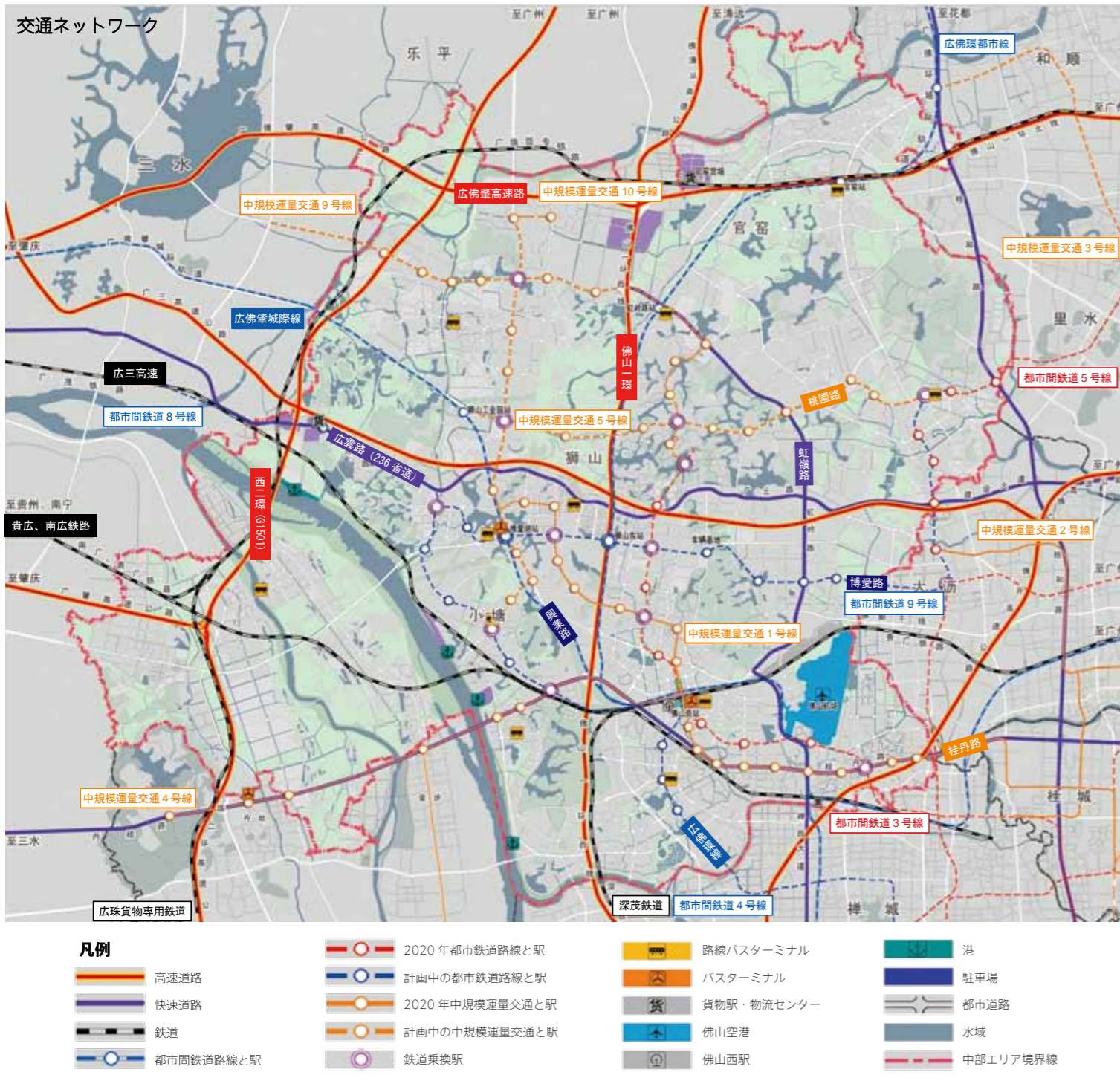
優れた交通ネットワーク

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は珠江デルタの中心地。陸海空の物流がともに便利なことは、当園の大きな投資メリットのひとつです。

陸上輸送

当園は、広東省、そして中国全国とを結ぶ主要な高速道路を有することも大きな物流メリットの一つです。広三高速、広佛肇高速道路、珠二環、佛山一環などの珠江デルタの主要な交通動脈が獅山鎮を通過しています。また、当園

内には虹嶺路、興業路、桃園路、三環西路などの整備された主要道路があり、陸運にも非常に優れています。広珠鉄道の獅山鎮沿線では貨物駅が設置されています。当区企業の貨物鉄道物流ニーズに合わせて貨物駅専用物流エリアが計画されています。



鉄道

現在、獅山鎮内に建設中の佛山西駅は国家重要建設プロジェクトの一つに数えられています。2017年6月に竣工予定。完成すれば、広州駅、広州東駅、広州南駅という大規模ターミナルから全国に張り巡らされている鉄道網が利用でき、中国全国主要都市と結ばれます。特に、中国内陸部との路線を多く運行する広州南駅までは車で40分の至近距離となっています。佛山西駅の使用開始により、高速鉄道では同駅まで15分で到着する計画です。佛山西駅は佛山空港とも隣接しており、複合的な物流ソリューションも可能となることが期待されます。

都市間高速鉄道・広佛肇線は、広州と佛山を結ぶ初の都市間高速鉄道として、2016年3月30日開通。始発駅は広州駅で、佛山西駅を経由し、獅山駅までわずか25分と非常に便利。すでに多くの人々に利用されています。

また、地下鉄は広州-佛山を結ぶ地

下鉄広佛線が開通、南海区と広州市とは地下鉄で結ばれています。地下鉄は今後、5本の路線が建設される予定。

現在は獅山鎮内への路線3号線が建設中で、2020年に開通予定となっています。



佛山西駅	
使用開始年	2017年6月
総建築面積	6.8万㎡ (3階建て)
プラットフォーム規模	10本23路線
運行路線	貴広鉄路、南広鉄路、佛山西至陽江鉄路、広佛肇城際軌道、広佛環城際軌道、佛山西至高明新空港城際連絡線、都市軌道交通3,4,10号線、路面電車T3等

鉄道・軌道線路（佛山西駅経由）

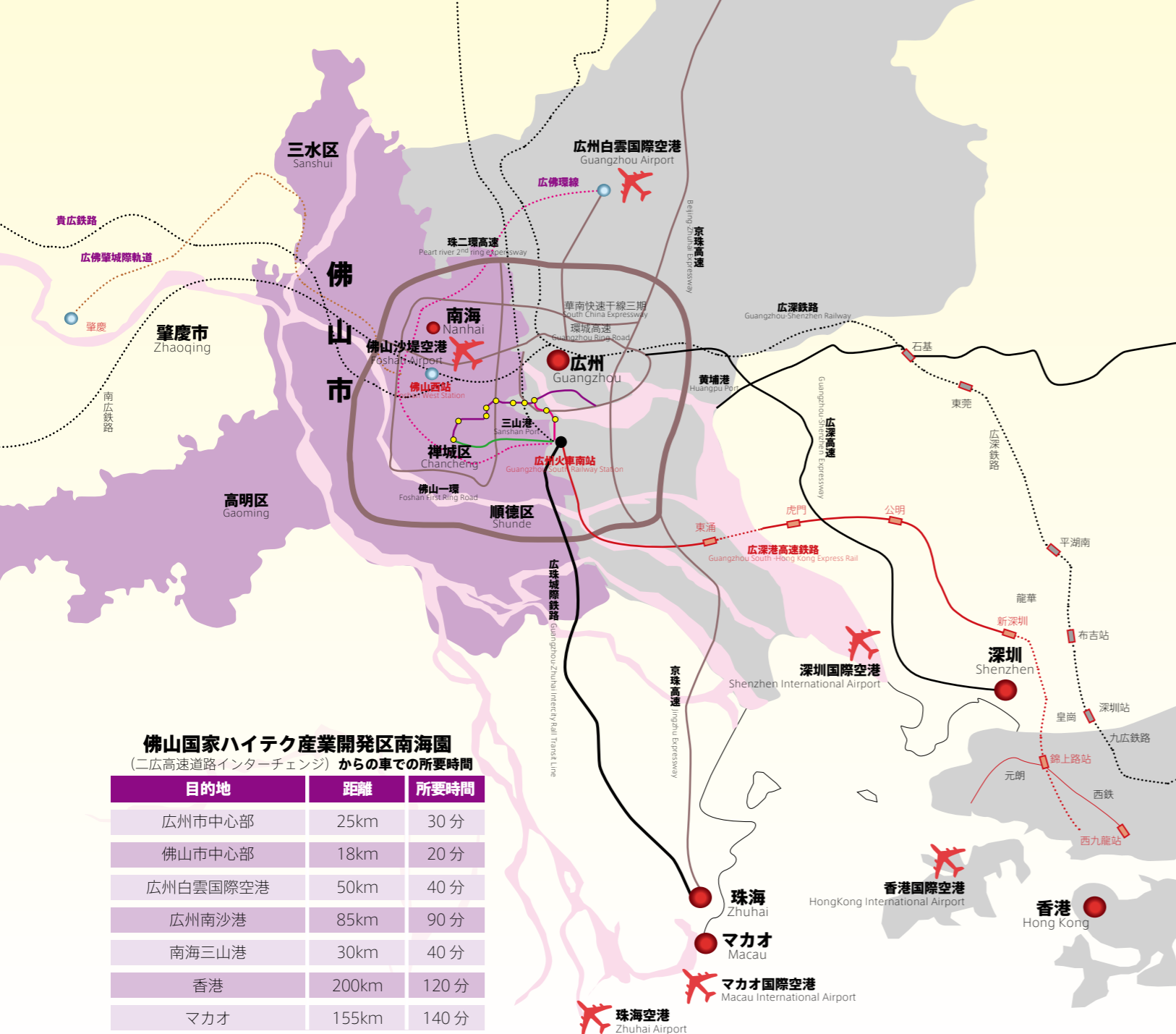
種類	路線名	路線行き先	最高時速	全長	開通時間
高速	貴広	貴陽北駅-広州南駅	300km/h	857km	2014年
高速	南広	南寧東駅-広州南駅	250km/h	577.1km	2014年
高速	広佛肇	広州駅-肇慶駅	200km/h	111km	2016年
高速	広佛環	佛山西駅-広州南駅	200km/h	36.16km	2017年
一般	広茂	広州駅-茂名駅	100km/h	364.6km/h	1991年
一般	広珠	広州駅-珠海駅	120km/h	187km	2012年

粵桂黔高鉄経済帯合作試験区で広がるさらなるビジネスの可能性

中国政府が現在打ち出している「一帯一路」(現代版シルクロード)の戦略に基づき、珠江デルタでの地域経済協力をさらに深めていくため、広東省政府は2015年9月、広東、広西、貴州の三省・自治区の発展願望とニーズに合わせ、佛山西駅を中心に佛山国家ハイテク産業開発区を基礎にした、粵(広東)桂(広西)黔(貴州)高鉄経済帯合作試験区(広東園)の建設プランを発足させました。

同プランは、具体的には佛山西駅を通過する貴(州)広(州)

高速鉄道、南(寧)広(州)高速鉄道などが開通したことに伴い、広東、広西、貴州の間が高速鉄道で結ばれることから、これら地域の経済協力をさらに強化させていくという計画となっており、試験区範囲は佛山国家ハイテク産業開発区の中から、佛山西駅を中心に92平方キロ。展覧施設、生活施設、商業施設などの建設が進められており、今後の展開が期待されています。



佛山国家ハイテク産業開発区南海園
(二広高速道路インターチェンジ)からの車の所要時間

目的地	距離	所要時間
広州市中心部	25km	30分
佛山市中心部	18km	20分
広州白雲国際空港	50km	40分
広州南沙港	85km	90分
南海三山港	30km	40分
香港	200km	120分
マカオ	155km	140分

空運

当園周辺には佛山、広州、深圳、珠海、香港、マカオという6つの空港があります。そのうち、佛山を除く5空港が国際空港で、日本との航空便も往来しています。

旅客便では、日本就航便は広州、深圳、香港、マカオともに就航しており、日本の往来が盛んに行われています。また、貨物便も多く運行されています。特に中国第三位の規模の国際空港・広州白雲国際空港へは当園から車で40分の距離です。同空港は2016年、国際空港協議会「ACI」が発表した国際空港サービス評価で「アジアパシフィック地域ベスト空港第3位」と「年間旅客輸送量4000万級以上ベスト空港第3位」という2つの賞を獲得しています。また、香港国際空港はアジアのハブ空港として、世界各地への貨物便が運行されています。

広州白雲国際空港

使用開始年	2004年
滑走路本数	3本
提携航空会社数	50社以上
路線数	1000路線以上(世界120都市以上に就航)
旅客量	5521万人(2015年)
貨物取扱量	154万トン(2015年)

拡張工事(2020年に完成予定)完了後は旅客量8000万人、貨物取扱量250万トンになる計画

佛山沙堤空港

使用開始年	1954年
滑走路本数	1本
提携航空会社数	2社
路線数	29路線以上(14都市に就航)
旅客量	29.6万人(2015年)
貨物取扱量	671.7トン(2015年)

海運

珠江デルタの中心にある当園は海運も至便です。香港、広州など周辺の大規模な国際港湾からトランシップで近隣の河川港に輸送することが可能です。

当園がある獅山鎮と隣接している三山港は和記黄埔港「HWL」と南海区政府が合併で開発する南海国際コンテナ港で、荷揚げ、倉庫、通関及び配達という「ワンステーション」式物流サービスを提供しています。同港は国家一類対外港湾で、珠江デルタの重要対外貿易港となっています。1994年に運営開始し、面積は40万平米、貨物置き場が20万平米あり、年間貨物取扱量は40万TEUです。停泊できるコンテナ船は最大5000トンにもなります。最終的には巨大な国際物流園となり、年間コンテナ取扱量が100万TEUとなる計画です。

また、南海区に隣接する三水港も河幅が広く、河川港としての規模が大きく、物流に適しています。

さらに、広州市南沙港や香港港、深圳港で陸揚げし、そのまま陸送での輸送も可能と、多くの輸送選択肢が選べるのも当園の特長です。

佛山市三水区南港埠頭

使用開始年	1996年
岸線長さ	780m
水深	4.5m
通航能力	4.5m
格納エリア面積	15万㎡
室内倉庫	1100㎡
停泊能力	2000 t 級コンテナ船×1、1500 t 級コンテナ船×1、1000 t 級コンテナ船×4

佛山市南海区平洲三山港

使用開始年	1994年
岸線長さ	420m
港湾面積	40万㎡
貨物取扱量	40万TEU
格納エリア面積	20万㎡以上
停泊能力	5000 t 級コンテナ船

整備されたインフラ環境

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は投資者の皆様に良好なインフラ環境をご提供しています。

電力

南海供電局は佛山市南海区の鎮や街に安定した電力を提供しています。管轄範囲内には10kV給電線路が1225回、線路総長7604.65キロ、担当範囲は1000平方キロメートル以上あります。電力供給先は100.62万箇所、なかでも高圧が0.89万箇所、低圧が99.73万箇所です。

獅山鎮の基礎エネルギーは充足しており、鎮内の変電所数は500KVが1箇所、220KVが7箇所、110KVが36箇所となっています。

ガス

南海区全体では、昨年(2015年)のガス使用量は3.1億Nm³(約23万トン)に達しており、安定した供給が行われています。獅山鎮でガスを供給する南海天然ガス有限公司獅山支社は、都市天然ガス業務を中心に、各企業に優れた品質で効率よいガス供給サービスを提供しています。

短期(2015-2018)の主管道供气能力は5000Nm³/hです。もしも増加が必要な場合は、改造工事を行い、2万Nm³/hとなります。

水道

南海第二水道局は南海獅山鎮小塘に位置し、佛山市において最も大きな水道局です。第二水道局の水源は北江水で、水量が充足していて、水質は良好。国家地面水環境のII類水質標準に達しています。主な水道管は直径1.8メートル、給水能力は一日当たりで最高110万立方メートルと企業の生産に十分な水量の提供が可能です。

また、汚水処理に関しては、現在の最大処理能力は一日あたり21.25万トンとなっています。

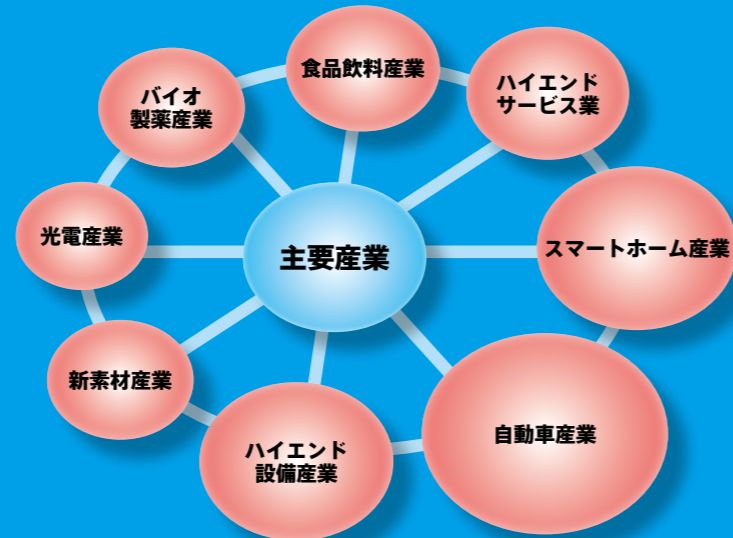
インターネット

ビジネスに欠かせないインターネット回線では、光ネットワークの建設に重点をおいています。各エリアには優れたネット環境が整備し、4G通信ネットワークを推進しております。また、2017年にはあらゆる公共の場所での無料Wi-Fi普及を目指しています。

年々進む産業集積

8大産業紹介

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は、1990年代から各方面の最新技術を有する企業が投資し、現在は自動車、ハイエンド設備産業、光電、スマートホーム、バイオ製薬など、現代社会の最先端を担うさまざまな産業が集積しています。



世界の工場として注目を集める中国のなかでも、最も産業が盛んな華南地域。その中心となる珠江デルタには日系完成車メーカー、日系家電メーカーなど日系大手製造業の大規模製造拠点が立地。さらに欧米などの大企業の生産拠点も集まっています。

こうした状況のもと、これらメーカーに材料や部品をおさめる内外の優秀なサプライヤーも当地に集積しています。佛山国家ハイテク産業開発区南海園は、その珠江デルタのさらに中心部というこれ以上ない立地条件のもと、数々の最先端産業を

担うメーカーが進出しています。

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は、博愛路都市核心を中心に、自動車産業園、光電顯示園、家電産業園、バイオ医学産業園、新材料産業基地、ハイエンド専門設備園、環保産業園、中欧科学技術合作産業園 というさまざまな産業が集積した工業園区から形成されています。

各産業にあわせた充実したインフラに加え、様々な原料や部品を調達しやすい産業集積も、当園の投資環境をさらに魅力的なものにしているのです。

自動車産業

完成車メーカーから大規模部品メーカーまで

中国のデトロイトといわれ、世界で唯一、日系三大完成車メーカーの生産拠点が集まる広州市に隣接する佛山市南海区に位置する当園は、各メーカーとのビジネスもスムーズに進む理想的な立地条件として、ホンダ、トヨタ紡織、アイシン精機、旭硝子、アツミテック、國分精密、高木精工、パーカーなど多くの日系自動車関連企業が進出しています。

広州市での完成車メーカーの生産拠点設立などに伴い、自

動車関連企業の進出が最も盛んになったのは、2004年から2006年。この3年間で10社以上の日系自動車関連企業が当園への進出を遂げました。

現在、獅山鎮の自動車及び部品製造企業は133社あります。2015年の納税額が5万元以上の企業が101社、工業生産額509.53億元を実現し、獅山鎮工業総生産額の15.92%を占めています。税収は39.24億元に達し、獅山鎮税収総額の36.15%、工業類企業税収総額の53.52%を占めています。



本田汽車零部件製造有限公司

本田汽車零部件製造有限公司：ホンダ技研工業100%出資のトランスミッション工場。2005年に進出。投資額2億ドル。進出時の生産規模は24万台/年、その後生産台数を徐々に拡大し、2013年から主にCVTミッションを生産。最大年間生産台数は100万台を超えます。



フォルクスワーゲン完成車工場

フォルクスワーゲン完成車工場：ドイツ・フォルクスワーゲン自動車株式会社、中国の第一汽車株式会社、アウディ自動車株式会社の合弁会社である「一汽大衆」の完成車工場として2011年進出。投資額約57億ドル、5年間最大生産台数60万台。フォルクスワーゲンが中国で投資した効率の一番高い工場として60秒/台の生産効率があり、自動化は70%に達しています。

ハイエンド設備産業

高度な集積を目指す

主にロボット、3Dプリンター、専用設備、生産メーカーが集積、全国のなかでも特に高度なハイエンド設備製造業基地を目指しています。

現在、佛山国家ハイテク産業開発区には納税5万元以上のハイエンド設備企業が899社あり、そのなかで「重点企業」に指定されている企業は136社となっています。同産業の生産額は280億元を超え、納税総額が8.19億元で、獅山鎮税収総額の7.01%を占めています。

当園には国家専用設備ハイテク産業化基地と広東省智能製



東方精工

造見本基地という二つの基地をベースにし、広東工業大学数値制御協同革新研究員、清華力合科技園（佛山）など4つの国家レベル産業インキュベータープラットホーム（P18参照）が集まりました。これらの産業インキュベータープラットホームを通して多くの企業を育て、新規企業200社を誘致しています。現在、同産業では上場企業が8社に上っています。（獅山鎮全体では上場企業は現在13社）

ロボット代表進出企業

華数ロボット：六軸ロボットを開発、知的財産権を保有し、国産化率85%以上。年間生産量は5000台。

3Dプリンター代表進出企業

南方風機：中国深圳証券取引所に2009年に開設された新興企業向け市場「創業板」の第一陣上場企業の一つ。2014年、北京航空航天大学と「大型金属電溶精密成形」を共同開発し、最小直径90センチ、最大直径6メートル、重量300トンの大型金属部品を3Dプリンター技術で生産し話題となりました。

専用設備代表進出企業

東方精工：全国最大、世界で5位を占める、梱包用段ボール箱印刷設備メーカーとして有名。特許43個を有します。

サクミ社：イタリア企業。2005年に進出、世界三大セラミックプレス機メーカーの一つ。



雪莱特

光電産業

影響力ある企業多数

佛山ハイテク産業開発区では、特に主に新型パネル、新光源、太陽光発電の三大領域を戦略性主力新興産業と位置づけており、当園にもこの方面の企業が多数進出、太陽光発電見本区、広東新光源基地、華南電源革新科学技術園という3つのテーマエリアでビジネスを展開しています。特に広東新光源基地にはLED製品、LED設備生産メーカー130社が進出し、全国でも影響力のある光電企業群の形成が着々と進んでいます。



群志光電

代表進出企業

群志光電：各種液晶モニターを手掛ける台湾企業・群志光電の大型液晶生産拠点である佛山群志光電有限公司。従業員数1万7000名（2015年）の大規模工場を有します。

雪莱特 (Cnlight)：中国有数のLED照明、自動車用照明、水処理、殺菌などの照明等高機能照明メーカー雪莱特の生産拠点・佛山雪莱特光電科技股分有限公司。多数の技術者を有し、特許も多数保有する中国上場企業です。

国星光電：LED関連製品を製造する中国有名光電メーカー。日系企業とも合作しています。



堅美アルミ材

新素材産業

飛躍的に成長

当園の新素材産業は飛躍的に発展しています。伝統的な陶磁器製品はエコ型陶磁器へと転換、アルミ合金企業も建築用アルミ合金製品、太陽光発電用アルミ材、LED用アルミ材、デジタル電子用アルミ材などの専門領域へと展開し、2017年までは新材料産業の工業生産額が1000億元になると見られます。

代表進出企業

堅美アルミ材、天安新材料、徳美精細化工、華昌アルミ、偉業アルミなど

堅美アルミ材：アルミ合金材料において断面規格1万8000種類を開発、国家特許保有数は200件を超えています。



東芝

スマートホーム産業

大手メーカーが集積

佛山市は中国における家電産業と家具製造の有数の集積地です。家電産業では美的、東芝、志高、Galanz、松下、海信など中国海外有名な家電メーカーが集積しており、家具産業では維尚家具、聯邦家具などの全国有名企業があります。白物家電と家具産業を進展させ、エコ化、知能化、革新化を推し進めており、国際的にも優秀なスマートホーム産業基地を建設しています。2017年にはスマートホーム産業の生産額は1500億元に達すると見られます。

代表進出企業

美的、東芝、志高、Galanz、海信、松下など



広東ハイオ製薬産業基地

バイオ製薬・医療機器

急進的に発展

バイオ製薬産業の領域では広東バイオ製薬産業基地と佛山生命科学園というテーマパークを有し、順調に発展を続けています。主な製品は化学薬剤、サプリメント、現代漢方薬の他、特に医療機器が大きな発展を遂げました。中でもデンタル総合治療機の生産量は全国の50%を占めます。特に歯科用LED光重合照射器と歯科サンドブラストガンは、全国生産量の30%と20%を占め、全国第1位と第2位となっています。

代表進出企業 百合医療、正典生物、中西達一、碧盈医療器材、東方医療、宇森医療機械など



燕京ビール

食品飲料業

恵まれた環境で生産

河川に囲まれ、良質な水源に恵まれる当園は、食品飲料業の進出も盛んです。中国でも特に有名な燕京ビール、Vitasoy、海天味業などが進出しており、当園ではさらに食品飲料産業を進展させていくべく尽力しております。

燕京ビールは年間生産量50万トン、1時間20万4000本もののビールを生産できる大規模工場となっています。香港企業のVitasoyも主に豆乳飲料を生産する会社として、全国でも有名な飲料メーカーとなっています。

代表進出企業 燕京ビール、Vitasoy、海天味業など

ハイエンドサービス業

製造業を完璧サポート

製造業の産業集積が進む中、当園にはビジネス流通、物流、金融サービス、展示会、クリエイションデザインなどのハイエンドサービス業企業の進出も進んでいます。2017年にはハイエンドサービス業の総収入が200億元に達すると見られています。

当園には広東工業設計城、新メディア産業園などのテーマパークがあり、広東工業設計城は敷地面積2.8平方キロ、主に製品の設計を特徴とし、広東製造市場を対象に広東省さらには全国の製造業に工業設計サービスを提供しています。

また、佛山国家ハイテク産業開発区では広東省ハイテク金融技術サービス区が設けられており、現在ですでに200社を超える金融機構と金融企業が進出、投資総額が500億元を超えています。同区は銀行、保険、証券、アウトソーシング、融資レンタ



広東デジタルメディア技術研究開発所

ルなどを含む、広東省において唯一の省レベルの金融産業専門エリアとなっています。中でも広東股権交易センターは2013年に開業し、2015年年初までにすでに1141社の企業が登録しています。

進出日系企業一覧（2016年8月現在）

現在、佛山国家ハイテク産業開発区南海園に進出した下記日本企業が設立した独立法人（独資、合併）は92社あります。そのうち、自動車産業関連企業は48社、工業機械などのハイエンド設備関連6社を含むその他企業は44社です。

自動車産業進出企業（1）

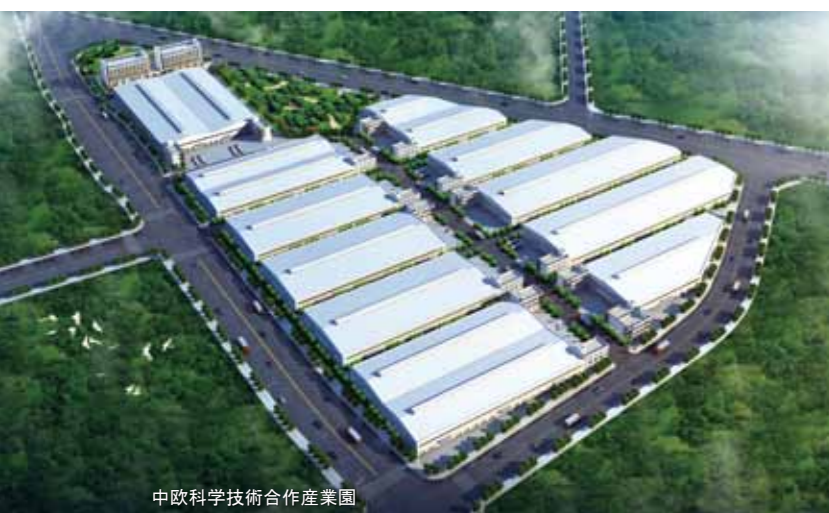
日本会社名	進出年
株式会社タカセイコー	1995
株式会社ブラネット	1995
株式会社ホンダアクセス	2002
株式会社ファルテック	2003
日本製麻株式会社	2003
アイシン精機株式会社	2004
東栄化学工業	2004
株式会社FALTEC	2004
日本パーカラライジング株式会社	2005
トヨタ紡織株式会社	2005
株式会社デンソー	2005
株式会社ニチワ	2005
株式会社エンケイ	2005
株式会社アツミテック	2005
本田技研工業株式会社	2005
国分プレス工業	2006
株式会社ホンダトレーディング	2006
AGC 旭硝子	2006
株式会社ニッセイアイソレイト	2007
東プレ株式会社	2008
株式会社カネカ	2011
愛知プラスチック株式会社	2011
アイシン精機株式会社	2011
株式会社ケーヒン	2012
日本ブレーキ工業株式会社	2014

自動車産業進出企業（2）

日本会社名	進出年
協同シャフト株式会社	2004
杉田製線	2004
株式会社神戸制鋼所	2004
株式会社メタルワン	2004
協立山株式会社	2004
株式会社飯田産業	2005
株式会社FCC	2006
金田工業株式会社	2007
株式会社セラ	2008
株式会社マクシス・シントー	2009
盟和産業株式会社	2009
株式会社遠州	2010
フジオーゼックス株式会社	2010
ユニタイト株式会社	2010
株式会社久田	2010
日進工業株式会社	2011
ヒルタ工業株式会社	2011
三山技研株式会社	2011
株式会社三陽製作所	2011
神鋼鋼線工業株式会社	2012
青山特殊鋼株式会社	2013
ミヤマ工業株式会社	2013
株式会社オーノ	2014
株式会社飯野製作所	2015
村上開明堂	2015

その他代表的な進出日本企業

日本会社名	進出年	業種
アイコット株式会社	1994	外装建材
株式会社ジョウホク	1995	電子機器
株式会社宮城光学	2000	電子機器
吉谷靴下株式会社	2002	アパレル
株式会社ホンダ物産	2003	工業機械
カスタムジャパン	2003	アルミ製品
東芝	2005	家電
中西金属工業株式会社	2005	工業機械
甲東株式会社	2006	被服剤
土谷ゴム化成株式会社	2007	プラスチック
アルフォーインターナショナル株式会社	2007	プラスチック
株式会社青木固研究所	2008	プラスチック
株式会社京進	2009	教育
株式会社豊田自動織機	2011	工業機械
株式会社松本製作所	2011	機械部品
マツモト機械株式会社	2012	工業機械
大和化学工業株式会社	2012	化学薬剤
兼房株式会社	2013	工業機械
富士通株式会社	2013	ICT分野
住友商事株式会社	2013	食品
安川電機	2015	工業機械
イオン株式会社	2015	小売業
丸運株式会社	2015	物流
マックスパリュ西日本株式会社	2015	小売業



中欧科学技術合作産業園



南海ソフト科学技術パーク



広東バイオ医薬産業基地



広東省新光源産業基地



工場、土地だけをリースして自社での工場建設、土地を購入して自社での建設など、いずれのパターンにも対応可能です。投資者のニーズとコストを十分に考慮して異なるニーズに対応することができる産業園です。

4 大産業園

各産業にあわせた 高度な環境をご提供

佛山国家ハイテク産業開発区南海園には、各産業にあわせた高度な環境をご提供する産業園があります。なかでも、現在多くの企業からの注目を集めている中欧科学技術合作産業園、広東省新光源産業基地、広東バイオ医薬産業基地、南海ソフト科学技術パークをご紹介します。

中欧科学技術合作産業園

中欧科学技術合作産業園は、国家商務部所属の中国国際投資促進センター、広東省商務庁投資促進事務局と南海区政府が欧州中小企業のために共同開発したハイクオリティー工場団地です。

欧州連合中国商工総会、欧州連合中小企業センター、欧州自動車工業協会など各国の商工会・協会・機構と協力し、欧州企業、そして世界各国の先進的製造業を誘致しています。

産業園の全体的な企画面積は約 87 万平米、第一期の土地面積は約 13 万平米です。現在は鋼構造のスタンダード工場約 9 万平米が完成しています。すでにイタリア、フランス、シンガポール、台湾の中小企業 6 社が進出しています。

各企業のご希望に合わせ、進出形式を柔軟に対応できるのが、中欧科学技術合作産業園の特徴です。現在あるスタンダード工場物件のリース、企業ニーズに応じたオーダーメイド



広東省新光源産業基地

広東省新光源産業基地は核心園区と専門販売区との二つ部分から構成され、核心園区の総面積は約 133 万平米、専門販売区が約 67 万平米となっています。

核心園区

核心園は専門生産区、研究開発区と居住区に分かれています。現在まで政府はインフラ施設建設のために 4 億円を投入しました。現在入居企業は 33 社、資本金合計約 6 億元に達します。専門生産区は全 23 棟の 5 階建て標準工場から構成され、一階の床面積は 1000 ~ 3500 平米があり、総延べ床面積は

広東バイオ医薬産業基地

広東バイオ医薬産業基地は南海区政府と中国科学院が共同建設するバイオ医薬産業園です。主な製品は医療機器、化学薬剤、サプリメント、現代漢方薬があり、そのほか、医療研究開発アウトソーシングサービス、ハイエンド診療サービス、バイオ医療展覧、貿易、配送物流などの関連サービスも提供されています。当産業基地は総計画面積約 400 万平米、研究開発インキュベーター区、生産製造区、物流展示区、診療サービス区、総合付属区の 5 エリアがあります。第一期には約 10 万平米の面積に 20 万平米の産業用工場を建設する予定です。

当産業基地は 2012 年と 2013 年に「広東省重点建設項目」と「広東省バイオ医薬産業十二五企画重点建設プロジェクト」に認定され、同時に、『広東「南海」バイオ医薬産業化基地』、『広東省科技企业インキュベーター』、『広東省小企業創業基地』、『広東省戦略性新興産業基地』などの称号を獲得しています。

2014 年までに入居したプロジェクトは 30 件、一部はすでに製品販売を実現しています。また、3 つのプロジェクトがサンプル研究を成功、7 つが臨床試験を申請中、3 つが GMP を完成または内装中です。

公用機器センターは 40 数社の企業に向けて検査測定サービ

23 万平米以上となる計画。第一期として延べ床面積 10 万平米の工場がすでに使用開始しています。

科技研究開発区は、オフィスビルと研究開発ビルを含め、全部で 6 棟あり、延べ床面積は 6 万平米に達します。すでに国家レベル半導体照明工程設計センター、国家レベル半導体照明測定センター、省半導体照明設計センター、電光源産・学研合作プロジェクト、広東省新光源産業基地融資サービスセンター、国家半導体照明産業連盟などの入居が決まっています。

核心区には居住区も設けられ、商業、飲食、娯楽の活動エリアなどインフラ施設を設置、企業の社員の皆様に居心地のよい生活環境を提供します。

専門販売区

専門販売区は「華南（国際）電光源ランプモール」として、関連物流施設を含め、モール全体が販売、展示、物流を一体化した中国初かつ最大規模の光電照明専門マーケットとなります。総投資額は約 10 億元、敷地面積は約 80 万平米です。第一期は敷地面積約 20 万平米、延べ床面積が 27 万平米で、現在まで約 1800 社が進出しました。ランプモールは専門販売区、展覧中心区など 8 つの機能エリアに分けてあり、室内照明、自動車ランプ、LED バックライト、特種類照明設備など 13 類電光源ランプ製品が販売されています。

敷地面積約 53 万平米の第二期も建設準備段階に入っています。第二期は LED 照明製品を中心に発展。同時に物流配送基地を設置するほか、大型高級的な新光源展覧センターを建設する計画です。



スを提供し、利用回数は 4000 回を上回りました。

さらに、当産業基地は優秀人材の招聘にも力を入れており、中国科学院の「タレント百人プログラム」から 4 人、「タレント千人プログラム」から 1 人、南海ハイレベル人材 14 人を含む 87 名の博士が駐在しています。

当産業基地から申請された新規特許は 13 件、その中発明特許は 9 件あり、中国のなかでも最先端のバイオ医薬産業基地となっています。

南海ソフト科学技術パーク

南海ソフト科学技術園は広東省四つのソフト園の一つであると同時に広東省五大大学パークの一つで、「獅山大学城」を有することも特徴的です。

南海ソフト科学技術パークは佛山国家ハイテク産業開発区南海園の中心に位置し、南海区情報化推進の最重要プロジェクトとしてその計画総面積が20平方キロメートルとなっています。1998年に建設を開始し、数年間で迅速な発展を経て現在は開発済み面積が約7平方キロメートルに達し、延べ床面積60万平米を超える建物を建設。進出済み企業は数十社あり、園区の総人口は3.5万人に達しています。なかでも佛山「科技街」プロジェクトはソフト園の中心部に位置し、全長約3キロ。周辺の大学環境に恵まれ、清華大学産業園を含め、数多くのイノ

ベーション・インキュベータが設立されました。ロボット、3Dプリンタ、光学・機械・電子など各分野の研究開発センターで優秀な研究者たちが日々研究を行っています。

獅山大学城

「獅山大学城」は当園の中心部に位置します。全国重点大学のひとつである華南師範大学は2000年に獅山大学城で華南師範大学南海分校を成立しました。現在は広東軽工業職業技術学院、華南師範大学、広東省東軟学院、佛山科学技術学院、広東省石油化工職業学校、広東工業高級技工学校、南海情報

技術学校の7校が進出し、在学学生数は5万人を超えています。

これらの大学の特徴は技術実用系の専門が多く設置され、実用系の人材の育成に重点を置いていることです。同時に開発区内の企業と提携し、企業が決まったコースで特定的に人材の育成プロジェクトも展開しています。また、獅山镇政府と連携し、共に「21世紀企業人材訓練基地」を設立。地元企業の管理人材と技術人材不足問題の解決、企業競争力アップ、獅山産業グレードアップの推進のために開放的な企業サービス・プラットフォームを提供しています。

研究機構	レベル
中国科学院ナノデバイスプラットフォーム華南センター	国家級
燃料電池及び水素源技術国家工程センター	国家級
広東省フラットパネル産業技術研究院	省級
中山大学佛山研究院	省級
香港科技大学LED/FPD工程技術研究開発センター	省級
佛山市南海中国科学院漢方薬バイオ科学技術産業センター	省級
佛山自動車技術創新公共サービスプラットフォーム	市級
佛山南海広東工業大学数値制御設備協同創新研究院	省級
佛山知能設備技術研究院	市級
広東省半導体照明連合創新センター	省級
広東省デジタル証書認証センター	省級
中国科学院EDA佛山分センター	区級

インキュベーター・連盟名	レベル
佛山市南海中国科学院漢方バイオ科学産業センター	国家級
広東省半導体照明産業創新インキュベーター	国家級
力合創智インキュベーター	国家級
広東工業大学数値制御設備共同創新研究院前インキュベーター	国家級
慧泉科学技術園加速器	未認定
佛山市智能設備技術研究院	未認定
18mall 創業インキュベーター	省級
佛山中国科学院産業技術研究院光機電産業インキュベーター	未認定
3Dプリンター産業インキュベーター	未認定
口腔器材産業インキュベーター	未認定
東軟華南IT創業園	未認定
国家半導体照明工程研究開発及び産業連盟佛山分センター	国家級
広東省3Dプリンター産業創新連盟共同センター	省級
佛山市ロボット産業創新連盟	市級



01. 広東軽工業職業技術学院
02. 広東工業高級技工学校
03. 広東省東軟学院
04. 華南師範大学



教育専門エリア「獅山大学城」と周囲の環境がもたらす 充実した人材環境

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は、進出企業の皆様に充実した人材環境を提供しています。園内には大学が集積する教育専門エリア「獅山大学城」(P18参照)があります。工業園区に隣接して、このような高等教育施設、研究機構が集まるエリアを有するのは、産学研接近の新しいスタイルで、当園が人材育成・人材確保を重視している姿勢を象徴しています。

「獅山大学城」以外にも、当園付近には佛山電大、広東商学院三水分校などの多くの高等学院があります。また、中国南部の科学技術教育の中心であり、重点大学の中山大学などがある広州大学城も車で60分の距離となっています。

また、獅山镇には公立小学校32校、中学校8校ありますが、その他石門高校、石門小学校など私立学校もあります。南海区では現在幼稚園(保育園)346箇所、中小学校208校あり学生約39.8万人が在籍しています。これからも、どんどん増える人口に応じて学校の新築、増築が計画されており、中国人従業員子弟の教育環境も整っています。

優遇政策・サービス

進出企業の皆様の立場に 立ったサービスを

佛山国家ハイテク産業開発区南海園は、いつでも進出企業の皆様のお役に立てるよう、日々努力を重ねております。高効率で専門的な進出企業サービスチームを作ることに力を入れ、「ワンステーション」式、「マネージャー担当制」などのサービスを設けることだけでなく、政府関連部門全体が一丸となつての企業支援、企業サポート、企業誘致を心がけてきました。

当園では、日本留学経験のある公務員、日本語ベテランのスタッフが進出相談の時点からフォローし、進出が決まった時点から企業設立にあたり、一貫したサポートを行います。関連部門とのコンタクトと各事項の調整、各種難問の解決、なんでもご相談いただけるのが特長です。また、進出後も皆様がお困りのことを可及的速やかに解決するべく、定期的にご連絡をさせていただき、ビジネスが円滑に進むお手伝いを行っています。

多くの企業様をサポートさせていただいた経験を生かし、新しい進出企業様のためにも更なる行き届いたサービスをご提供したいと思います。

優遇政策に関しては、そのタイミングでの最新・最大の優遇をご提供できるよう、常に万全の体制を整えております。産業発展を推進していくために、産業別に優遇政策を設けており、企業の増産増資に対する支援金、工場機械化に対する補助など、皆様の産業、生産内容等にあわせて、最大限のメリットをご提供していきたいと思っておりますので、お気軽にご相談いただければ幸いです。

審査権限に関しては、佛山市政府が行っている「許認可権限の地方への委譲」などの行政改革措置により、佛山国家ハイテク産業開発区南海園では市レベルの許認可権限を行使し、市民と企業様に最大限の利便性を提供しています。外資企業登録手続きでは投資総額が1億ドル以下である奨励、許可類のプロジェクトを当園で許認可



地域発展研究セミナー



投資専門弁護士招聘。写真左から陳玲副局長、甘勇劍局長、謝宏弁護士、呂能武弁護士

できるようになり、企業設立手続きがより便利になりました。

また当園は2016年4月、中国華東地域の中心である上海に事務所を設立いたしました。すでに中国の他地域に設立されている日系企業様に対し、既存生産拠点と当園の新拠点がスムーズな連携を取れるよう、全力でサポートを行っていく所存です。



獅山鎮行政服務中心（行政サービスセンター）では、関連部署を1箇所にまとめ、各種申請にワンストップでご対応



佛山国家ハイテク産業開発区上海連絡処



広東省南海区駐上海投資促進代表処

進出企業に聞いた当園の魅力

当園にはフォルクス・ワーゲンの完成車工場や日系の大手自動車部品メーカーなどの大規模企業から、ハイテク産業の研究開発型企業、そしてアパレル等伝統産業まで様々な外資系企業が進出しています。日系と外資系それぞれの企業に当園の魅力を伺いました。



橋本修 総経理

佛山日和汽車零件有限公司
アットホームな温かさ
と継続した一貫性が魅力

自動車精密冷間鍛造部品などを製造する株式会社ニチワ（本社：宮崎県日南市）は2005年に地元企業のTGPMと合併で当園へ進出しました。（出資比率＝ニチワ80%、TGPM20%）。進出時には製品2サイズだけから生産スタート、現在は年商1億円規模となっています。

同社は取引先からの要望を受け、中国進出を検討開始。そして、中国で自動車関連の生産を行っているところを北から南まで見て回った結果、当園への進出を決めました。

佛山日和の三代目の総経理として2014年に着任した橋本修氏は、当地でビジネスする一番の魅力は南海区と獅山鎮両方の政府の熱心さだといいます。「政府主催で進出企業駐在員とその家族を年に一度地元の観光ツアーに連れて行ってくれ、地元への理解を深めさせてくれるというような継続的な一貫性を持った取り組みにも、そのアットホームな温かさを感じます」（橋本氏）

同社は順調にビジネスを発展、5年後には現在の1.5倍の売上を目指し設備投資を進めていく予定です。

佛山日和汽車零件有限公司
2005年5月設立
資本金 4億7500万円
従業員数 122名



Marco Bertola 総経理

広東佛斯伯智能設備有限公司
充実した調達環境で
安価で良い製品の生産が可能に

イタリアのコルゲーターラインメーカーであるFosber S.p.aの中国法人である広東佛斯伯智能設備有限公司。中国企業で獅山鎮に拠点を置く広東東方精工科技股份有限公司が2014年にFosber S.p.aの株式の60%を取得したことにより、現在、東方精工の敷地内で操業を行っています。

同社総経理・Marco Bertola氏は獅山の最大の魅力は調達環境だといいます。「私は中国のいろいろな都市に行ったことが有ります。例えば上海には多くの優秀なサプライヤーがいます。しかし、彼らのコストは大変高く、当社製品の価格もヨーロッパで生産するのとはかわらなくなってしまレベルです。しかし、獅山は、珠江デルタの中心にあり、産業集積が進む当地のあらゆるサプライヤーと取引できるため、我々の製品も競争力を高めることが出来るのです」

今後もさらにビジネスを拡大していきたいと意気込む同氏。「来年は今年の3倍に生産規模を拡大したいと思います」。

広東佛斯伯智能設備有限公司
2014年11月設立
資本金 200万EUR
従業員数 50名

南海日商友誼会インタビュー 政府のサポート手厚いのが魅力

牧保博会長（佛山豊田紡織汽車零部件有限公司総経理、駐在歴 11 年）

2005年に設立した南海日商友誼会は、南海区に進出した日系企業や南海区に勤務する日本人のための親睦団体です。現在、本会員 55 社 165 名、広州市内等から参加する賛助会員も含めると 95 社 205 名が所属しています。会員の多くが製造業、なかでも自動車関連が 60%以上を占め、多くの企業の所在地は獅山鎮となっています。

同会のメインとなる活動はゴルフコンペと企業対抗バスケットボール大会、そして新年会、中秋節パーティ、南海区観光ツアーなどです。この中秋節パーティーや観光ツアーは南海区政府、獅山鎮政府の主催によって行われています。

同会の牧保博会長は「当地は南海区、獅山鎮両政府の皆さんが非常に協力的で素晴らしい」と話します。

当地に日系企業が集積したのは、トヨタ、ホンダ、日産などの完成車メーカー工場に近いことに加え、政府の対応の熱心さが各企業担当者の心を打った、といわれます。

「当会も日系企業の進出が本格化した 05 年に、政府の方の呼びかけがきっかけとなり発足しました。進出当初も今も変わらず、当地の政府の方はいつでも進出企業に対して親身に対応して下さるのがうれしいです」（牧会長、以下同）

現在も、獅山鎮政府担当者が年に 2 回以上進出企業を訪問し、困っていることがないかをヒヤリングに訪れることから、政府の進出企業への手厚いケアが伺われます。

また、牧会長は当地はインフラ整備が計画通りに進み、非常にスムーズなビジネスができることも進出企業にとって大きな魅力になっているといいます。「例えば、ガスに関しても進出当初は LPG でしたが、3 年後は LNG に変わるという説明が政府からあり、実際にきちんとスケジュール通りに変更がおこなわれ、生産体制に影響がなく移行することができました」。



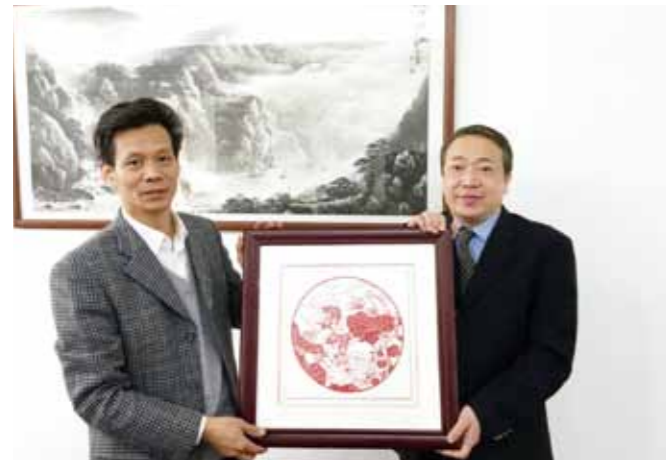
牧保博 会長

海外での生活は日本とは違うこともあるが、その分日本では味わえない経験ができるともいう牧会長。「当地でビジネスをしていく上で、地域社会との交流は非常に大切。地域との交流活動を積極的に行えば、日本では味わえない楽しい経験もできます」。牧会長自身も地元の学校の学生と交流したり、地元ボランティアとともにひとり暮らしの老人を訪問したり、活発な活動を行っています。

近年はやはり政府の呼びかけで「外国友人クラブ」が設立され、いろいろな活動が行われています。メンバーは、当地で働く欧米人、東南アジア人など様々で、地域が国籍を超えた交流の架け橋となっています。

暮らしやすくビジネスしやすい環境を作り、人が集まる街にしたい、という政府の思いが当地に投資する人々にも通じ、皆さんが充実したビジネスライフを送っています。

「一般の工業団地は工場が密集しているイメージですが、佛山国家ハイテク産業開発区南海園は中規模な工業団地が集まり、一つのグループを形成していて、企業同士が近すぎず遠すぎず、情報交換が出来る非常に適切な距離感を持っています。政府のサポートも手厚く、非常にビジネスがしやすい工業園区です」



横川誠・高木自動車部品（佛山）有限公司総経理（右）
佛山ハイテク区管理委員会主任・南海区副書記・獅山鎮副書記・劉清根（左）



西澤建・本田汽車零部件製造有限公司総経理（右）
獅山鎮鎮長・黄文富（左）

南海日商友誼会・外国人友人クラブ 異国で安心して相互交流を

異国でのビジネスを安心して行っていくためには、政府や企業間での緊密なコミュニケーションが欠かせません。企業の皆様の情報交換の場として、さらに地元政府との交流の場として、南海日商友誼会と外国人友人クラブが活動しています。

南海区政府と獅山鎮政府は、各企業様が当地への進出した後も、末永くこの地でビジネスをご発展いただき、ますますのご繁栄をいただくことを心より願っております。

こうした思いを現実につなげるため、当地では進出企業の皆様とさまざまなご協力を行わせていただいております。

日系自動車メーカーの進出が増加した 2005 年には、進出企業の皆様の情報交換と交流の場として、日本企業の商工会の設立をお呼びかけし、多くの

進出企業様のご協力を得て、「南海日商友誼会」がスタートいたしました。

現在は獅山鎮進出企業を中心に他の南海区進出企業、さらには近隣の広州市などからも日系企業にご参加いただき、活発にご活動いただいております。政府もゴルフコンペや地元文化理解促進のための観光ツアーなどのイベントを通じ、皆様と交流させていただいております。

さらに近年は世界各国からの企業進出が加速しており、こうした世界各国

の友人によりよく地元文化に馴染み、地域と密着した交流をしていただくために、「外国人友人クラブ」がスタートしました。南海日商友誼会との交流、そしてゴルフコンペなどさまざまな活動を通じ、企業間の繋がりを強めていきます。数々の活動を通じ、より安心して当地でのビジネスを進めていただけることを祈念しております。



地元植樹活動参加
1 行列目右 2 瓜生直幸・愛信精機（佛山）車身
零部件有限公司総経理



忘年会で誕生日のお祝い



外国人クラブ会合

獅山樹本産業家園

優秀人材確保への取り組み

獅山鎮政府は、進出企業が当地でスムーズにビジネスを発展できるよう、さまざまな試みを行っています。なかでも進出企業で働く優秀な人事の確保、育成サポートには特に力を入れております。中国の外地から働きに来た人材に獅山鎮を自分の故郷のように感じていただけるような暖かい環境づくりに努力しています。

優秀な従業員の確保と定着率アップは、企業のビジネスの成功にかかせません。魅力ある環境作りには、獅山鎮政府は2013年に「獅山樹本産業家園」を設立しました。

この樹本産業家園では、政府が主体となり、さらに労働組合、社会局、女性連合会などいろんな政府部分が連携して、スキルの育成から心理コンサルティングなどあらゆる方面でのサポートサービスを無料で行っています。

施設の延床面積は3000平米、1階は行政サービス提供スペース、2階は専門サービス提供スペースとして図書館、ダンス室、小型劇場、情報掲示板などを設置。毎日専門のソーシャルワーカーが指導員として当直しています。

こうした取り組みの一環として、「夢工場」プロジェクトがあります。本プ



ロジェクトは若い世代の出稼ぎ労働者のために企画されたもののひとつです。具体的にダンス、歌、撮影など、夢工場シリーズのイベントを通して、企業

の従業員が自分の趣味を見つけたりいろいろなレッスンを受けたり勉強することができます。参加者への調査では、その満足度は85%にも達しています。



ギターレッスン



ダンスレッスン



生花レッスン



北紐レッスン

仕事も生活も充実！

「安心して働け、幸せに暮らせます」 日系進出企業中国人幹部に聞いた 佛山・南海・獅山鎮の魅力

高木自動車部品（佛山）有限公司 総務部 部長 呉一歌さんインタビュー

高木自動車部品（佛山）有限公司は株式会社タカギセイコー（本社：富山県高岡市）の中国生産拠点として2005年2月に当園に設立されました。その設立直後の2005年6月に入社、今年で勤務12年目を迎えた呉一歌さん。現在は総務部長として、総経理の指導の下、工場管理から人材採用まで全社のあらゆる方面の部門の管理を行っています。

この仕事で大変やり甲斐を感じている呉さんは、「入社以来、一度も退職を考えたことはない」と言います。

「特に8年前に現任の総経理が着任してから、総経理を中心に当社全体が団結力が強い“チーム”のような感覚で、一丸となって一つの目標に向かっていて、充実した日々を送らせていただいています。総経理から信頼をいただき、いろいろな業務を任せていただいております、心から感謝しています」

呉さんは河南省洛陽出身。日本の大学を卒業直後に入社したのが、同社です。中国北方にある故郷からは大分離れてしまうものの、「新しい会社で自分の可能性を試してみたかったので、不安はありませんでした」といいます。

呉さんは08年にご結婚、現在はご主人の職場に近い佛山市禅城区の高級マンションに住んでおり、通勤はマイカー。

「住まいは息子の学校を考えて選びました。周囲の環境もよく、治安も問題なし。とても満足しています」

南海区そして禅城区など佛山エリアは地元出身者に加え、進出企業の幹部など中国富裕層が集まっているので、ショッピングスポットも充実、非常に暮らしやすいと言います。同マンションは禅城区ですが、道を一本隔てたら南海区という立地。

「同僚は獅山鎮や南海区の他の鎮に



住んでいる人も多いです。佛山エリアは近年高級マンションも多く、皆、居住環境には満足しています」

呉さんは「獅山鎮政府は我々進出企業の従業員のために大きなサポートをしてくれています」と話します。

「樹本産業家園という政府が運営するサロンがあり、ここでは親子で楽しめる様々な活動や悩みを相談できる心理カウンセリングサービスまであります。また、労働関係相談、企業間の交流、各勉強会の開催、企業のスポーツイベントの場所の手配なども政府が手伝ってくれ、本当に手厚いサービスを受けています」

暮らし、そして周囲の環境が安定していると仕事にも一層打ち込めるといいます。

「今後も会社の期待に応えられるよう精一杯頑張りたいです」

地域サービスが充実

貸し自転車と24時間自動図書館

獅山鎮では、地域に勤務したり、暮らしたりしている皆さんのために、さまざまな地域サービスを提供しています。なかでも、代表的なのが、貸し自転車と自動図書館です。

貸し自転車は、獅山鎮が内部交通の重要補足手段として開始しました。鎮内に2015年一年間で無料貸し自転車ステーション106箇所を建設し、自転車3500台を配置しました。さらに二期の計画として2016年にはレンタルステーション65箇所、自転車2000台を投入する予定です。2020年、人口94万人に達する見込みの獅山鎮では自転車レンタルステーション531箇所

と自転車1万9000台を配置する予定です。自転車レンタルステーションは平均的に500メートル毎に1箇所を設置する計画です。

獅山鎮は佛山市に先立ち、24時間自動図書館システムの建設を進めています。図書館の貸出と返却が便利になり、図書館利用を推進するために『獅山鎮自動図書館昇級設計画案』が提出されました。現在建設中の大型図書館と各エリアにある中型図書館のほか、住宅区の近くに自動図書館を設置する計画です。2014年に建設がスタートして以来、すでに11箇所の自動図書館が建設されています。



無料レンタル自転車



自動図書館

南海の暮らし



和信広場

南海区は獅山鎮を核に新しい都心づくりが確実に、かつ急ピッチで進んでいます。

悠久の歴史を持つ南海は、数々の独特な広東嶺南文化を持つ街です。さらに、改革開放とともに全国に先立ち民間企業による経済発展が進みました。現在は地元の人々の経済レベルも高く、豊かな暮らしを享受する人が多いのが南海の特長。近年は中国第三の都市であり中国南部を代表する都市・広州で働くホワイトカラーのベッドタウンとしても注目されています。

和信広場

獅山鎮の新中心にある和信広場は、建設面積 8.9 万平米、地上 5 階地下 2 階の、現在獅山鎮を代表するショッピングセンター。平日は 1 日 3 万人、休日には同 5 万人が訪れます。駐車場は平日夜や週末には満杯になるほど。

外資系ブランドもスターバックス、マクドナルド、ケンタッキー、ピザハットといった飲食系、そしてナイキなどアパレルもあり、さらにユニクロも出店しています。

階上にはレストラン街があり、ステーキハウスなどもあります。また、最新設備を揃えたシネマコンプレックスもあり、獅山鎮のレジャーと消費の中心となっています。

保利水城

南海区の金融中心エリアにある保利水城は、獅山鎮から車で 20 分ほどの距離。

大型ショッピングセンターや数々のレストラン、バー、カフェがあり、南海区民だけでなく、周辺から訪れる佛山市民で賑わっています。ショッピングセンターにはイオンもあり、日本の食材なども手に入りやすいのがうれしいです。また、六六寿司など日本料理屋もあります。

同エリアの中心には美しい湖・千灯湖があり、休日には家族連れなどで散歩をする人々が多く見られます。

また、同エリアにはインターコンチネンタルホテルもあり、佛山でビジネスを展開する多くの外国人ビジネスマンの宿泊先としても人気です。



保利水城イオン

飲食環境

獅山鎮には現在、多くの高級マンションがあり、鎮内や近郊都市に勤務するホワイトカラーが多数居住しています。このため、鎮内にはニューファミリーをターゲットにした多くのレストランやカフェがあります。

中華料理で人気なのは、なんといっても地元・広東料理のレストラン。なかでも雍景湾、和信広場の新月酒家、南国桃園内の宴会はいずれも接待にも

使われる高級店です。また、和信広場には重慶火鍋など辛い料理のレストランもあり、バラエティに富んだ中華料理が楽しめます。

また、近郊の農家が経営する「農庄」（農家のレストランの意）は地元の人に大人気で、週末に家族でドライブがてら農家の新鮮で美味しい料理を食べに行く人は少なくありません。

中華料理以外にも、和信広場にはス



ステーキハウスや日本料理店、韓国料理店があります。また、獅山鎮から車で約 20 分の佛山市禅城区には多くの日本料理店やバーがあり、進出日系企業の日本人駐在員に愛用されています。



広東嘉惠高酒店



楓丹白露



広佛新世界

安心の居住環境

投資を考える際に重要なのは駐在員や出張者が安心してビジネスに集中出来る生活環境です。獅山鎮でビジネス展開をする日系企業の皆様の住まいの状況をご紹介します。

長期駐在者

現在、日系進出企業の多くの日本人駐在員は、獅山鎮から車で約 20 分の佛山市禅城区と同 40 分の広州市内に居住しています。

禅城区には、マルコポーロ、クラウンプラザなどの外資系ホテルがあり、長期滞在にも対応しています。また、日本語が通じる不動産仲介会社が賃貸マンション物件の紹介も行っています。

さらに広州市内には外資系ホテル、掃除サービスなどが付いているサービスアパートメント、日本人駐在員も多く居住する高級マンションなど、より

多くの選択肢があります。広州には広州日本人学校や日本人子女が通う日本語幼稚園などもあり、家族帯同での駐在も問題ありません。

出張者

出張で獅山鎮を訪れる日本人ビジネスマンに多く利用されているのは、獅山鎮内の広佛新世界国際交流中心のサービスアパートメントです。アメリカ人マネージャーによる管理で、国際レベルのサービスの提供を目指しており、禅城の飲食店への送迎など細やかなサービスがあるのが人気です。



佛山南海雅樂軒酒店



佛山南海華美達酒店

また、鎮内にはラマダホテル、嘉逸ホテル、aloft ホテルなど 4 つ星、5 つ星の高級ホテルもあり、多くの日系進出企業に利用されています。

さらに、長期駐在員同様、禅城区のホテルに宿泊する人も少なくありません。

獅山鎮公共交通

獅山鎮では、地下鉄や高鉄鉄道による周辺地域へのアクセスの他に、獅山鎮内の公共交通も充実されつつあります。

現在、鎮内の循環バスは 34 路線。保有台数は 292 台、そのうち LNG 車、ハイブリッド車、純電動車 247 台、84.6% を占めます。乗り換えセンターは 12 箇所設置されています。さらに周辺エリア行きのバスも 59 路線あり、約 600 台の公共バスが走っています。

今年は広州行専用バスの路線案も検討の段階に入り、22 路線の直行バスが開設予定です。獅山鎮の交通状況は日々発展を続けています。



急速に進む都市建設



博愛湖完成予想図

獅山鎮は大規模な都市発展計画が進み、新しいショッピングセンターや高級マンションの開発が急ピッチで進んでいます。特に街の美観向上と天災等による洪水を防ぐ調整池の機能を兼ね備えたプロジェクト「博愛湖」や南海区の商業ランドマークとなる「長華国際センター」の建設が注目されており、獅山鎮そして佛山国家ハイテク区南海園のさらなる発展が期待されています。

博愛湖

博愛湖は集中豪雨などによる雨水の氾濫、道路の浸水を防ぎ、街の排水システムを全面的に改善するために、既存の池、ダム、川を改造し、オリジナルな形状を保ちながら、水面と周囲の公園部分の面積を合わせて約60万平米の貯水機能を持つ人造湖のプロジェクトです。同プロジェクトの建設内容は水系の整備だけではなく、公園部分

の道路、緑化、庭園建築、広場など多くの公共施設が含まれています。

同プロジェクトの特徴は人工湿地ろ過システムを利用し、生態系のバランスが取れた大型公共スペースを築き上げることです。完成後、南海区のなかでも、観光、レジャー、ビジネス、居住を兼ね備えた生活エリアとなり、獅山鎮の街のイメージと美観がひときわよくなることが期待されています。

買い物も交通も至便 「佛山の生活、気に入っています！」 日系進出企業日本人管理職に聞いた 佛山の生活環境

愛信精機（佛山）車身零部件有限公司
総合管理部総務科科长 佐橋英郎さんインタビュー



自動車部品を製造する愛信精機（佛山）車身零部件有限公司で総務を担当する佐橋英郎さんは、2010年から当地に勤務。元々、中国が好きで大学在学中には吉林に留学、その後大連、天津での勤務経験がある佐橋さんは、これら都市と比べても「佛山は生活しやすい」という。

「何より気候が温暖。過ごしやすいのと食べ物おいしいのがうれしいですね。東北料理はおいしいのですが、味が濃いので毎日食べると飽きてしまいます。広東料理はあっさりした味付けで日本人にも食べやすく、毎日でも食べられます」

広東料理のなかでも、特に餃子やシューマイなど点心とともに中国茶を楽しむ飲茶が好きという佐橋さん。

「セイロに入ったいろいろな点心を食べている時に幸せを感じますね」

会社は獅山鎮だが、住まいは佛山市禅

城区のスイスホテルのアパートメント。多くの外国人も住んでいるこのアパートメントは、家具や設備などもしっかりしていて、住むのに不便はないといいます。

「29階で夜景もきれい。さらに街の中心なのに車の音が全くなくてとても静かなのも気に入っています。買い物も近くにイオンがあり、困りません。広州市内にも地下鉄で行け、便利です。治安もよく安心して暮らせます」

これまでの勤務地では開発区内に住まいがあったため、買い物や交通の面で困ったこともあるといい、佛山の居住環境は非常に恵まれているといいます。

旅行が好きで佐橋さんが佛山を気に入っているもう一つの理由が、「旅行が便利なこと」。

「広東省は温泉が多く、週末には妻と近場の温泉めぐりなどプチ旅行をしています。また、東南アジアへのアク

セスもよく、休暇の際には気軽に東南アジアへ旅行できるのもうれしいです」

また、広東省にはゴルフ場も多く、「多くの日本人駐在員がゴルフを楽しんでいます。プレー代も日本より安く、手軽にできます」といいます。

「週末には車で片道2時間のマカオに遊びに行く人も多いですね。週末もいろいろな過ごし方があり、楽しんで生活できます」

また、佐橋さんが当地の魅力として挙げるのが、地元政府の熱心さ。

「日頃の業務でも困ったことがあるとすぐに助けてくださり、非常に感謝しています。また、普通の開発区では政府の人と顔をあわせる機会は少ないですが、南海区や獅山鎮政府は新年や中秋節など休みの際にも、日本人を招いてパーティをしてくれます。これも安心して当地で暮らせる大きなポイントです」

長華国際中心

敷地面積9万3000平米、建設面積80万平米の大型商業エリア・長華国際中心は、獅山鎮の新中心エリアに建設中で、2017年に完成予定です。

同エリアには20万平米の大型商業施設や12棟の高級マンション、そして高さ178メートルの高層ビルとなるウィングダムホテルなどが出来る計画。商業施設には米流通大手のウォルマート、大手シネマコンプレックスの万達、家電流通大手の蘇寧などの進出が決まっています。5600台収容可能な佛山市最大の駐車場も作られる計画で、完成後には佛山市の中心的な商業施設になると期待されています。

また、同エリアの北側9万平米は政府の開発により図書館や文化センター、商工会議所などが作られる予定です。

- 青少年宮：9006.62m²
- 図書館：25029.97m²
- 演劇センター：20538.92m²
- 商工会ビル：35310.44m²

- ▶ 佛山市副中心のランドマーク
- ▶ 敷地面積95,000m²、建築面積800,000m²、駐車場6,000台
- ▶ 大型ショッピングセンター、オフィス、ホテル、マンション、商店街を一体化したプロジェクト
- ▶ 青少年センター、演劇センター、図書館を併設
- ▶ 南海区行政サービスセンター、南海地下新交通獅山中枢駅に隣接

2013年、粵海通不動産会社により、6.98億元で落札。計画投資額：30億元



長華国際中心完成予想図

4つのゴルフ場

中国のなかでも広東省は早くからゴルフ場が建設されたため、充実したゴルフ環境を享受できます。山や水を活かしたアップダウンあるコースも多く、多数のゴルファーに愛されています。

南海区には4つのゴルフ場があります。その中佛山ゴルフクラブと南海桃園ゴルフクラブが獅山鎮にあります。中信会山語湖ゴルフと南海ゴルフはそれぞれ隣接している里水鎮と丹灶鎮にあります。これらゴルフ場はいずれもトーナメントが行われるなど、格式ある広東省内でも人気のコースです。



01 佛山ゴルフクラブ

広佛新世界広粵国際交流中心内にある佛山ゴルフクラブは完全会員制のゴルフクラブです。世界レベルのトーナメントが行われるほど由緒ある人気コース。18ホールはそれぞれ起伏に富んでいます。

02 南国桃園ゴルフクラブ

南国桃園内にある南国桃園ゴルフクラブは、広東省の多くのレベルの高い日本人ゴルファーに愛されています。27ホール、トータル1万615ヤードあり、その距離の長さの難しさが上級者に人気。クラブハウスも美しい高級感あるコースです。

03 中信会山語湖ゴルフクラブ

中国の有名デベロッパー・中信集団が開発したリゾートの中にあるゴルフ場。18ホール。中国のゴルフ関連サイトでは「アプローチが難しいコース」と評されます。ゴルフ学校なども併設。

04 南海ゴルフ

獅山鎮に隣接する丹灶鎮にある南海ゴルフは1994年創立。18ホール、トータル7193ヤードのコースに加え、アジア最大級の練習場も併設しています。広々としたクラブハウスも人気。

大規模スポーツ大会を開催

<ゴルフ>ヨーロピアン・チャレンジ・ツアー

広佛新世界に位置する佛山ゴルフクラブでは、2013年より連続10年間、ゴルフのヨーロピアン・チャレンジ・ツアー（ヨーロピアン・ツアーシリーズの一つ）が行われることが決定しています。同ゴルフクラブはゴルフ環境団体が授与している世界的な認証である「GEO Certification」を中国華南地区において初めて取得しており、CGCD デザインによって国際コンペ基準に満たしていることが、世界的なツアー開催に繋がりました。また、先端的な循環水システムを取り入れ、都市の水を一滴も使わないというエコ理念に基づいた経営も評価されています。

<自転車>佛山高新区（獅山鎮）粵港澳自転車レース

広東省、香港、マカオなどから800名の選手が参加して行われる佛山高新区（獅山鎮）粵港澳自転車大会は、中国のナンバー10に数えられる自転車レースです。広佛新世界の敷地内で行われ、中国の選手に加え、獅山鎮で操業するフォルクス・ワーゲン社の外国人スタッフなども参加し、盛り上がりを見せています。



西樵山南海観音法像

悠久の歴史を持つ南海

南海の歴史は非常に長く、約7000年前の石器時代にはすでに人類が住み、栄えていたという記録が残されています。

さらに、秦の始皇帝の中国統一後、紀元前214年には南海郡が置かれ、この頃から南海という地名が世に広まりました。

広東の四大名山の一つ・西樵山にある世界最大といわれる観音像は、観音が出家した6月19日を記念し、61.9メートルの大きさ。その雄大な御姿は多くの人々を惹きつけています。

長い歴史を誇る南海は、中国南部の「嶺南文化」の粋が集まっています。

なかでも有名なのは伝統武術と獅子舞、そしてドラゴンボート。南海区西樵鎮の「黄飛鴻獅芸武術館」では、伝統武術「洪拳」や獅子舞などが毎日行われています。

また、南海区で最も大きな鎮であり、佛山国家ハイテク産業開発区南海園の所在地でもある獅山鎮は、伝統武術「詠春拳」の発祥の地として有名です。ブルース・リーの師匠であり、映画でもたびたび取り上げられている伝説的な拳法の達人・葉問の故郷も獅山鎮羅村です。現在、羅村には「葉問記念館」があり、世界中の詠春拳の愛好者が訪ねてきています。



黄飛鴻



葉問



康有為



陳啓沅



- 01 南海観音寺
南国桃園に位置する千年以上の歴史を持つ名刹・南海観音寺
- 02 孝徳湖公園
美しい湖がある孝徳湖公園は、散歩コースにぴったり
- 03 中央電視台南海影視城 (CCTV 南海映画村)
映画やテレビ撮影が行われている中央電視台南海影視城はテーマパークとしても人気

獅山鎮は、また風光明媚な桃園があることでも有名です。獅山鎮内の南国桃園には美しい桃園に加え、ゴルフ場、そして「南海観音寺」があります。

この観音寺は990年に建立、千年以上の歴史を持つ名刹です。毎年旧暦の1月26日には観音庫が開放され、何万人もの人々が訪れます。また、蓮池もあり、夏には美しい蓮の花が鑑賞できます。

さらに、近年人気の観光スポットとして注目を集める、中央電視台南海影視城 (CCTV 南海映画村) も南国桃園内に立地します。きらびやかな宮殿や香港・マカオの昔の様子を再現したコーナーなど、精巧に作られた様々なセットで実際に映画が撮影されており、多くの名作が生み出されています。

また、獅山羅村にある水をテーマにした公園・孝徳湖公園は地元市民の憩いの場となっています。

長い歴史と豊かな文化を持つ南海区は、多くの著名人を排出してきました。前出の伝統拳法の達人・黄飛鴻や詠春拳の達人・葉問という武術家に加え、清末民初の思想家・政治家であり日本にも滞在した康有為、有名な民族資本家の陳啓沅 (1872年に南海西樵簡村で中国初の近代民族資本工場一継昌隆製糸工場を設立)、中国初のカメラを発明 (1844年)、世に「中国カメラの父」と称されている鄧伯奇など歴史に名を残す多くの逸材が南海区の出身です。

古くから栄えた豊かな土地。その芳醇な文化は、現代に至るまで人々を惹きつける魅力を備えているのです。



04 葉問記念館
ブルース・リーの師匠である伝説的な拳法の達人・葉問の記念館



05 黄飛鴻獅芸武術館
清朝末期から民国初期まで活躍した中国南部を代表する武術家・黄飛鴻の武術館では伝統武術や獅子舞のショーが見られます



06 樹本善堂
1893年に設立した樹本善堂基金は「医療を贈り、貧しい人を助け、人を育てる」主旨で一貫して慈善事業に従事してきました。樹本善堂の「樹本精神」は代々獅山に受け継がれ、「獅山樹本産業家園」(P24参照)にもその精神が現れています。



07 詠春拳愛好者の集い
葉問の息子・葉準が世界中から集まる詠春拳愛好者を指導しています

南海・獅山の伝統行事

古来より栄えてきた南海・獅山では、今も多くの伝統行事が行われています。



樂安花灯会 「広東省非物質文化遺産」

南海区樂安村の「樂安花灯会」は300余年の歴史を持ち、広東省非物質文化遺産に指定されている由緒ある祭りです。樂安花灯会は中国の多くの地域で行われる元宵節 (旧暦1月15日) の「花灯会」とは異なり、

旧暦1月9日に行われています。言い伝えによると清の時代1875年の1月9日、結婚後8年間子どもを授からなかった夫婦が偶然樂安村に遊びに行ったとき、「観音送子蓮花灯」を買い、ある大きな石の上に座って休憩したら、翌年その夫婦は子どもを授かることができました。このことが広く伝わり、その石と提灯の不思議な力を信じ、子どもを求める人がたくさん訪れ、同じようなことしたら、願いが叶ったといわれます。この言い伝えにより樂安村が有名になり、毎年旧暦1月9日の花灯会の習慣が受け継がれており、毎年十数万人の観光客が訪れています。

獅王争覇戦

国家級非物質的文化遺産に指定されている南方獅は、広東省の嶺南文化を代表するもののひとつです。この南方獅の発祥地は南海区であると言われています。歴史的な武術家・黄飛鴻は南海区で中国カンフーと獅子舞の技術を極め、世界でも類まれな文化を生み出しました。

毎年5月1日には2001年から開催されている「黄飛鴻杯」獅王争覇戦。全国そして東南アジアからの有名チームが参加し、何万人もの観戦客が訪れます。2005年から国家体育总局社会体育センターと中国龍獅運動協会より、



中国北の獅と南の獅が競技するコンペに指定されました。さらに毎年5月11日には世界華人チームの「獅王争覇戦」も開催されています。

現在、南海獅子舞は単なる民俗芸能から新たな技術と革新を加えられ、専門性の高い体育競技、総合的な芸術、娯楽性を持つ文化と変わりつつあり、注目を集めています。

ドラゴンボート「龍舟戦」

「五月五日は龍舟節でお母さんが龍舟を見に連れていってくれる」と古くから歌い伝えられている童謡にあるように、佛山ではドラゴンボートの競技は重要な伝統イベントとなっています。端午節の定番として、

毎年5月頃から6月頃にかけて南海区を含む佛山の各鎮でドラゴンボートの大会が行われます。地方レベルはもちろん、全国レベルさらに世界レベルでの大会も行われ、この時期になると多くの観光客が訪れます。



観音開庫・還庫

南海観音寺は990年宋の時代に建立、1000年を超える歴史を持ちます。歴史の波を受け、破壊と再建が繰り返され、現在の観音寺は1996年に再建されたものです。毎年旧暦1月26日は、南海観音の「開庫日」であり、旧暦12月19日は「還庫日」となっています。



官窯生菜「レタス」会

官窯生菜「レタス」会は獅山鎮の官窯エリアに400年前から続いてきた一年に一度の伝統的な集会です。旧暦1月26日に村の観音参りをした後、家で家族、兄弟と一緒に貝の肉、エビ、野菜、ご飯などをレタスで包んだ料理を食べます。これには健康と幸福、子孫繁栄と隆盛など生活が更に良くなるよう祈る気持ちが込められています。官窯生菜「レタス」会は村をあげて皆でレタス料理を食べる会ですが、同時に祝いのイベントとして必ず龍舞、獅子舞も行われます。2009年に広東省の非物質文化遺産となり、現在国家非物質文化遺産を申請中。2015年のレタス会では1500kgものレタスが使われました。レタス会に使われるレタスは50日前から専用の畑で作り始め、その成長過程を厳しく管理し品質の優れたものがつかわれています。レタス会の伝統を守るために2013年「官窯レタス会会館」が建設されました。会館には歴史的文物、写真、画像などの資料が展示されています。

佛山の名産品

佛山市には数多くの名産品があります。その中から代表的なものをご紹介します。



ナス 塩歩秋茄

ナスの中でも薄緑色で細い形状が特徴的な塩歩秋茄。300年以上前から生産されている歴史あるナスで、「観音の手」と評されています。皮が薄く身が柔らかく、形が小さくて優雅なイメージがあるので「日本的」な特徴があるとも言われています。5月から10月の間に収穫されます。

白酒 九江双蒸酒

九江双蒸酒は200年以上の歴史を持つ白酒（バイジュウ）です。コメから作られており、広東地方を代表する酒として名高いです。アルコール度数は30度ほどと高め。



ニガウリ 譚邊村大頂苦瓜

南海区譚邊村のニガウリは肉厚で形状も丸く、ニガウリのなかでも美味と有名です。味は苦味や渋みが少なく栄養豊富で、肝臓の保護やガン予防にも効果があると言われます。

クワイ 官窯马蹄

日本のクワイよりサクサクした歯ごたえが特徴的な中国のクワイ。なかでも、獅山鎮のクワイは大きく、果肉が白く、ジューシーでさわやかな甘さが人気です。獅山鎮のクワイは桂林でのクワイとともに中国のクワイ輸出トップの座を占めています。特に獅山鎮のクワイは日持ちすることで名高く、東南アジアへの輸出が多いため、東南アジアの国々では特に有名です。獅山鎮の農民の保存方法だとなんと2年近く、オリジナルな新鮮度を保つことができるそうです。



石湾公仔

約五千年前から発祥し、唐と宋の時代から日本、東南アジア、世界各地へ輸出され、明と清の時代に盛んになった佛山市「石湾公仔」は悠久な歴史とともに受け継がれた細かな細工と高い技術、ユニークな芸術風格で評価されています。2006年には中国国家級の「非物質文化遺産」に認定されました。



苧紗綢

2000年以上の歴史を持つ佛山市の「苧紗綢」。伝統的な染色技術は2008年中国国家級「非物質文化遺産」に認定されています。「苧紗綢」は「香雲紗」とも呼ばれて、ベースの白色シルク布に薯蕷「紅露クール」の汁と地元特有の川泥で何度も染め、14もの工程を経て作られます。「苧紗綢」はその色の特別さに加え、なめらかな肌触りと天然素材のため健康にもよい布として珍重されています。

南海便利電話帳

便利なバス路線

線路名：香港直行バス
乗り場：佛山市南海区獅山鎮博愛中路61号
ラマダホテル正門
電話番号：0757-8116-6997

線路名：広州白雲空港直行バス
乗り場：佛山市南海区獅山鎮博愛中路61号
ラマダホテル正門
電話番号：0757-8116-6987

行政サービスセンター

部門名	電話番号	部門名	電話番号
不動産/住宅、国土	0757-8668-1007	警察戸籍	0757-8668-9802
	0757-8668-9611	出入国	0757-8668-2295
	0757-8668-9613	交通警察/車両管理	0757-8668-1306
総合業務/生育、財政、都市管理、市政、商工会	0757-8668-8965	連合検収、連合審査	0757-8668-9130
	0757-8668-0845	企画、水利	0757-8668-4838
	0757-8668-1503	建設	0757-8668-0653
社会保険業務	0757-8668-9552	人民防空	0757-8668-2032
	0757-8668-0679	交通管理	0757-8668-0221
	0757-8668-1309	市場監督、衛生監督	0757-8668-9612
	0757-8668-2015	環境	0757-8668-8871
地方税務	0757-8668-0532	給電	0757-8668-1176
	0757-8668-0552	年票	0757-8669-5066
	0757-8668-8336	社会保険カード	0757-8668-0561
婚姻登録、民政	0757-8668-9616	公証	0757-8668-2260
工商	0757-8668-9466	経済促進局	0757-8116-8560
印鑑彫刻	0757-8668-1175	投資促進局	0757-8668-3236